

- 経理上手くんα Pro II 【社会福祉法人】 VERSION:12.004
- 経理上手くんαクラウド Pro II 【社会福祉法人】・経理上手くんαクラウド SE Pro II 【社会福祉法人】 VERSION:12.004

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 「原票会計 S (VERSION: 8.101)」のバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**社会福祉法人 d b (VERSION: 12.004) の変更点**”を参照してください。

ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:12.004) の変更点

改 良

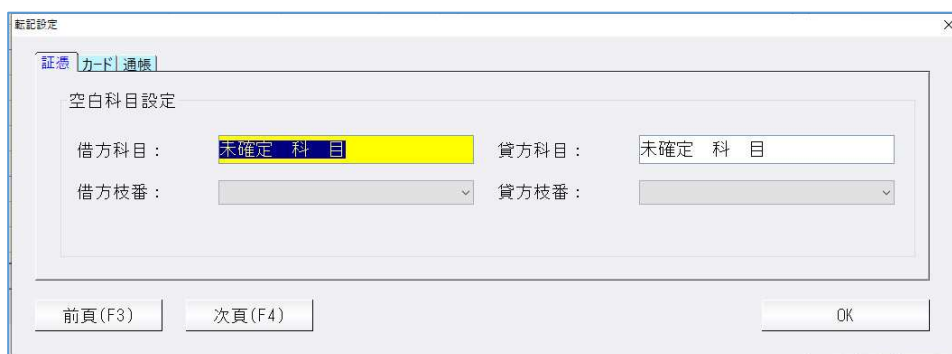
I. 登録・入力

1) 仕訳入力

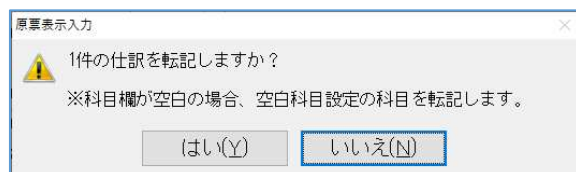
<原票読取（※電帳法オプション契約のみ）>

①仕訳入力画面からの原票読取で以下の改良をしました。

- 1.通帳・カードを読み取った後の、認識データの確認画面を表示せずに原票表示入力画面に進むようにしました。（証憑は一旦サムネイル確認画面を表示します。）
- 2.原票表示入力から仕訳を転記する際、空白科目があった場合、転記設定の「空白科目設定」で登録した科目（初期値は未確定科目）をセットするようにしました。
 - ・オプション－転記設定にて「空白科目設定」を行います。



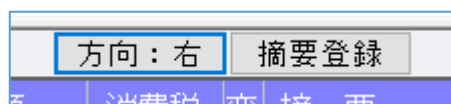
- ・空白科目がある仕訳を転記しようとするすると下記メッセージを表示します。



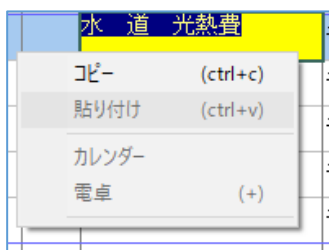
- ・「はい」押下で、空白科目設定で登録した「未確定科目」で仕訳を転記します。

10	05.05		未確定科目	普通預金	1	100			
11	05.05		未確定科目	普通預金	1	100			
12	05.05		未確定科目	普通預金	1	0			

- 3.カーソルの縦横移動方向の設定ボタンを追加しました。（クリックで [方向：右/下] に切替）
- 4.摘要登録ボタンを追加しました。



- 5.原票表示入力にて科目欄でのコピー、貼り付けに対応しました。



2) 科目設定・残高登録

①期末日が2023年1月1日以降の「令和5年10月消費税改正」バージョンアップ済みマスターについても、摘要辞書登録に「登録番号」「免税」の設定ができるよう変更しました。

(登録番号は会社登録の「インボイス登録番号の表示」を有効にすると表示されます。)

<期末日2023年1月1日以降>

番号	摘要名称	カナ	消費税	登録番号	免税	借方科目	貸方科目	複数行
1	1月分	イカ						
2	2月分	ニカ						
3	3月分	サンカ						
4	4月分	シカ						

●参考 <期末日2023年10月1日以降>

・個別対応マスター「仕入区分」「登録番号」「免税」が設定可能

番号	摘要名称	カナ	仕入区分	消費税	登録番号	免税	借方科目	貸方科目	複数行
1	1月分	イカ							
2	2月分	ニカ							
3	3月分	サンカ							
4	4月分	シカ							

・簡易課税マスター「売上区分」「登録番号」「免税」が設定可能

番号	摘要名称	カナ	売上区分	消費税	登録番号	免税	借方科目	貸方科目	複数行
1	1月分	イカ							
2	2月分	ニカ							
3	3月分	サンカ							
4	4月分	シカ							

・上記以外マスター「登録番号」「免税」が設定可能

番号	摘要名称	カナ	消費税	登録番号	免税	借方科目	貸方科目	複数行
1	1月分	イカ						
2	2月分	ニカ						
3	3月分	サンカ						
4	4月分	シカ						

3) 新規会社登録・修正・削除

①期末日が2023年1月1日以降の「令和5年10月消費税改正」バージョンアップ済みマスターについても、「インボイス登録番号の表示」の選択を有効とするように変更しました。

II. 銀行CSV取込

1) 銀行CSV取込

①AI摘要機能を使用するかを選択できるオプションを新設しました。

AI摘要から推測した科目を、自動でセットするかしないかの選択ができるように、オプション→取込設定に「摘要から推測した科目を自動取得する」の機能を追加しました。

※デフォルトのチェックはONにしています。

取込設定 ×

摘要から推測した科目を自動取得する

<機能説明>

「摘要から推測した科目を自動取得する」チェックONの場合
→AI摘要機能から推測した科目を自動でセットします。

「摘要から推測した科目を自動取得する」チェックOFFの場合
→AI摘要機能から推測した科目を自動でセットしません。

※チェックOFFの場合でも、AI摘要から推測した科目があれば、科目欄にカーソルを止めたときにその科目をダイアログ内に表示します。

日付	CSV摘要1	CSV摘要2	仕訳転記摘要	科目	入金	出金	消費税	通帳残高	科目残高	転記
										<input checked="" type="checkbox"/>
										<input checked="" type="checkbox"/>
										<input checked="" type="checkbox"/>

科目	摘要	9	17	25
1	雑収入	9	17	25
2		10	18	26
3		11	19	27
4		12	20	28
5		13	21	29
6		14	22	30
7		15	23	31
8		16	24	32

※ON、OFFに関わらず、銀行 CSV 摘要を認識した場合は摘要登録された自動仕訳をセットします。

AI 摘要で当期・前期仕訳データから貸借科目を取得する場合、諸口・未確定科目等を含んだ仕訳を対象外としていたのを、判定の対象とするように変更しました。

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①マルチウィンドウを有効にする（並べて表示または重ねて表示）設定の際、電卓機能にて数字を入れて Enter 押下しても、金額欄に反映されていなかったのを修正しました。

※マルチウィンドウを有効にしていなくても縮小表示にしたときも同様に反映されていませんでした。

II. 決算

1) 決算書

①決算書類に対する注記の「9.有形固定資産の取得価額、減価償却類型学及び当期末残高」の“基本財産・土地”、“基本財産・建物”を出力したとき、“土地（基本財産）”、“建物（基本財産）”と出るべきところ、令和4年改正マスターでは“土地”、“建物”と表示されていたのを修正しました。

1. 有形固定資産の取得価額、減価償却	
固定資産の取得価額、減価償却	
土地（基本財産）	
土地	
合計	

→（基本財産）がなく、“土地”と表示されていました。

※科目設定・残高登録業務の決算書名称に「（基本財産）」と登録している場合は重複しますのでご注意ください。

以上